

臼杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 課名
担当課 農林振興課

コード	IV-11-19	施策名	農林業の経営基盤強化と担い手育成
まちづくりの目標	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)		施策の方針 おいしく安全な食材を創り活かし
5年後のめざす姿	「地域の農地は地域で守る」という意識を高め、継続的に就農者の確保や農地集積を図り、集落単位の農業の強化を図ります。農業後継者グループの育成や農業・農産物に関する啓発活動など、地域の実情に応じた生産性の向上や安定的な農業収入の確保をめざします。林業においては、健全で豊かな森への整備促進を図りながら効率的な施策につなげることで、森林所有者の所得向上と森林整備への意欲増進をめざします。		
施策の課題	農林業の振興については、担い手の確保・育成が急務であり、特に有害鳥獣対策は農家の営農意欲の減退、農業収入の減少につながることから、担い手育成の課題として取り組む必要がある。また、森林・竹林整備についても施策の展開を図りながら、所得向上を目指し、適正な管理を行えるよう推進を図っていく必要があります。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画>

新規指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
新規就農者数【累計】		農林業技術取得のための研修等卒業生の新規就農人数	目標	人	44	54	64	74	84	
			実績		34	45	52	57	60	
			達成率	%		102.3%	96.3%	89.1%	81.1%	
有害鳥獣被害を軽減させるための防護柵設置距離【累計】		防護柵の設置距離	目標	km	400	420	440	460	480	
			実績		379	393	420	455	490	
			達成率	%		98.3%	100.0%	103.4%	106.5%	
竹林整備面積【累計】		竹林整備面積	目標	ha	18.0	20.0	22.0	24.0	26.0	
			実績		15.0	16.0	17.0	17.8	19.3	
			達成率	%		89.4%	85.5%	80.9%	80.4%	
食農教育の推進(学習会)及び植付・収穫体験実施回数		学校や個人を対象とした学習会の実施回数	目標	回	55	60	65	70	75	
			実績		43	33	13	30	10	
			達成率	%		60.0%	21.7%	46.2%	14.3%	
中間管理機構を通じた利用権の設定【累計】		利用権設定面積	目標	ha	—	—	—	20.0	25.0	
			実績		10.0	9.9	10.9	13.6	20.2	
			達成率	%		—	—	—	101.0%	
指標の進捗状況	概ね順調	指標の分析	目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の進捗状況	概ね順調	指標達成に向け今後の流れ	目標							
			実績							
			達成率	%						

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	満足度
強化領域	2.60	1.86	
過去の調査結果(領域)	令和3年度 強化領域	令和4年度 強化領域	
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域			浸透度 77.77%

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	活力あふれる園芸産地整備事業	園芸品目の機械・施設整備に係る補助	農林振興課	694,405	122,064	有	概ね順調	向上	大	
2	大分の茶産地強化対策事業	茶産地育成のための植栽・機械整備に係る補助	農林振興課	4,476	5,250	有	概ね順調	強化	中	
3	中山間地域等直接支払交付金	中山間地域における農業生産の維持、多面的機能の保全に係る交付金	農林振興課	15,809	15,746	有	概ね順調	強化	中	
4	水田農業構造改革事業	経営所得安定対策等事業の推進補助	農林振興課	7,588	6,667	有	概ね順調	強化	中	
5	多面的機能支払交付金	協定締結集落の共同作業による農地、農業用施設の維持管理、環境保全型農業に取り組む市内農業者への直接支援	農林振興課	27,917	27,598	有	概ね順調	強化	中	
6	農業後継者就農促進事業	農業就農者(後継者)の増加を図るため、「アグリ起業学校」(ピーマン学校)やファーマーズスクールなど、県・JA・ピーマン部会・市等が連携して行う支援事業	農林振興課	19,413	12,502	無	概ね順調	強化	大	
7	青年就農給付金事業	50歳以下の新規就農者に対する給付金	農林振興課	86,249	73,803	有	概ね順調	向上	中	
8	有害鳥獣対策事業	イノシシ、シカ、サル、小動物の侵入を防止する柵設置に対する補助	農林振興課	53,441	60,060	無	概ね順調	向上	大	
9	竹林・里山再生事業	間伐による優良竹林化や作業道開設に対する補助	農林振興課	1,293	2,547	有	概ね順調	向上	大	
10	農地集積・集約化対策事業	農業の重要な生産基盤である農地について、その確保及び有効利用を図っていく事を目的に、農地の利用状況調査及び利用意向調査を実施し、耕作放棄地および遊休農地等の調査・確認・指導等に取り組みました。	農業委員会事務局	1,876	1,876	有	概ね順調	強化	中	
			合計	912,467	328,113	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

・新規就農者は増加傾向にありますが、中山間地域でも特に山間の水田や畑の維持保全に対する方針を打ち出す必要があります。また、優良農用地においては、高収益作物の作付けなど複合的な作付け経営を推進し、経営の安定化を図る必要があります。
 ・有害鳥獣対策として、今後も防護柵の設置や捕獲による個体数を減らす事業を進めていくが、餌となる農作物の放置やひそみ場所などを無くす集落環境対策についても推進する必要があります。

施策の評価（今後の施策の方向性）

評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る
 ○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	・指標の達成のためには、更なる事業展開・充実を図りながら農業振興を進める必要がある。特に担い手対策は、急務であり現在の確保対策を見直し、制度の充実を図っていくことが必要。